

ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会
トラック&フィールド種目日本代表選手選考要項

1. 編成方針

パリ 2024 オリンピック競技大会にむけて、本大会での成果は重要である。その過程において、本大会は 2023 年度の最重要競技大会と位置づけられる。

このことから本大会では、パリ 2024 オリンピック競技大会でのメダル・入賞を期待される競技者および出場権獲得が有望視される競技者を中心に選考するとともに、本大会の参加資格を有する競技者を最大限派遣する。

2. 開催地

ブダペスト（ハンガリー）

3. 開催期間

2023年8月19日（土）～8月27日（日）

4. 対象種目

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、4×100m リレー、4×400m リレー

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、4×100m リレー、4×400m リレー

(3) 混合

4×400m リレー

5. 主なスケジュール

2022年

1月31日（月）

10000m、混成競技、リレー種目 参加標準記録有効期間開始

7月31日（日）

その他の T&F 種目 参加標準記録有効期間開始

2023年

1月～

日本グランプリシリーズ

6月1日（木）～4日（日）

第107回日本陸上競技選手権大会（2023／大阪）

6月10日（土）～11日（日）

第107回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2023／秋田）

6月12日（月）以降

第1次日本代表選手発表

※以降内定条件を満たした場合は、随時追加。

7月30日（日）

参加標準記録有効期間終了

8月2日（水）

ワールドアスレティックス（以下「WA」という。）から

参加資格者公表

- ・承認された参加標準記録未達成競技者のリスト
- ・参加標準記録によって参加資格を付与された競技者リスト
- ・WA ワールドランキングと参加資格を取得した競技者
- ・参加資格を取得したリレーチームリスト

8月3日（木）以降

第2次日本代表選手発表

8月7日（月）

エントリー締め切り

※以降、WAによる追加の可能性あり。

6. 選考競技会

(1) 個人種目

- 1) 第 107 回日本陸上競技選手権大会 (2023/大阪)
- 2) 第 107 回日本陸上競技選手権大会・混成競技 (2023/秋田)
- 3) 日本グランプリシリーズ・10000m

※対象競技会については、2023 年度グランプリシリーズにおける種目配置決定後定める。
(2022 年 12 月までに決定予定)

(2) リレー種目

1) 選考競技会

- ・第 107 回日本陸上競技選手権大会 (2023/大阪)
- ・広州 2023 ワールドリレーズ

2) 参考競技会

- ・ワールドランキング対象競技会 (2023 年より WA が設ける制度によりワールドランキングの対象として承認された競技会)
- ・リレーの資格記録取得のために日本代表として出場した競技会

7. 選考基準

下記の各条件中の競技成績については、当該種目に係る成績のみ考慮する。下記の数字の若い順に優先する。

(1) 個人種目 (男女 10000m を除く)

【内定条件】

- 1) ワイルドカードにより本大会の参加資格を得た競技者。
- 2) オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会で 8 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1 日から日本選手権終了日までに、ワールドランキング対象競技会において参加標準記録を満たした競技者。
- 3) 日本選手権以降に、ワールドランキング対象競技会において参加標準記録を満たした、またはワールドランキング (WA から本大会の参加資格の基準となるものとして公表されたもので 2023 年 8 月 2 日公表予定、以下「基準ワールドランキング」という) により参加資格を得た、オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会で 8 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者。
- 4) 日本選手権 3 位以内の成績を収めた競技者であって、日本選手権当該種目終了時点までに本大会の参加標準記録を満たした競技者。下記の項目 (数字の若い順に優先) により優先順位を定める。ただし、オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会で 8 位以内の成績を収めた競技者がいる種目は最大 2 名までとする。
 - ① 日本選手権の順位
 - ② 参加標準記録有効期間開始日から日本選手権終了時点までの記録
 - ③ 日本選手権の成績が反映された直後のワールドランキング

【選考条件】

- 5) 日本選手権 3 位以内の成績を収めた競技者であって、参加標準記録有効期間内に参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目 (数字の若い順に優先) により優先順位を定める。
 - ① 日本選手権の順位
 - ② 参加標準記録有効期間内の記録
 - ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2023 年度に開催される国内外主要競技会 (日本グランプリシリーズ等) の成績
- 6) 基準ワールドランキングにより本大会の参加資格を得た者で、日本選手権 3 位以内の成績を収めた競技者。ただし、下記の項目 (数字の若い順に優先) により優先順位を定める。
 - ① 日本選手権の順位
 - ② 基準ワールドランキングの順位
 - ③ 参加標準記録有効期間内の記録
 - ④ 上記①～③の基準で優劣がつかない場合は、2023 年度に開催される国内外主要競技会 (日本グランプリシリーズ等) の成績
- 7) 参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目 (数字の若い順に優先) により優先順位を定める。

- ① 日本選手権の成績
 - a. ラウンド進出上位
 - b. 同じラウンド内で比較する場合は上位ラウンドでの記録上位
- ② 参加標準記録有効期間内の記録
- ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2023年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 8) 基準ワールドランキングにより本大会の参加資格を得た者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ① 日本選手権の成績
 - a. ラウンド進出上位
 - b. 同じラウンド内で比較する場合は上位ラウンドでの記録上位
 - ② 基準ワールドランキングの順位
 - ③ 参加標準記録有効期間内の記録
 - ④ 上記①～③の基準で優劣がつかない場合は、2022年度に開催される国内主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 9) エントリー締め切り後に WA から追加による参加資格が認められた競技者。

(2) 個人種目 (男女 10000m)

【内定条件】

- 1) ワイルドカードにより本大会の参加資格を得た競技者
- 2) オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会で 8 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1 日から選考競技会終了時点までに、ワールドランキング対象競技会において参加標準記録を満たした競技者。
- 3) 選考競技会 3 位以内の成績を収めた競技者であって、選考競技会終了時点までに参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ① 選考競技会の順位
 - ② 参加標準記録有効期間開始日から選考競技会終了時点までの記録
 - ③ 選考競技会の成績が反映された直後のワールドランキング

【選考条件】

- 4) 参加標準記録有効期間終了までに参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ① 選考競技会の順位
 - ② 参加標準記録有効期間内の記録
 - ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2023年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 5) 基準ワールドランキング（クロスカンントリー含む）により本大会の参加資格を得た者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ① 選考競技会の順位
 - ② 参加標準記録有効期間内の記録
 - ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2023年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 6) エントリー締め切り後に WA から追加による参加資格が認められた競技者。

(3) リレー種目

各リレー種目の代表選手は、下記の基準でリレーの特性を考慮して選考する。

強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画し、参加を求めた遠征、競技会及び合宿に参加した者の中から選考するものとする。

- 1) 男女 4×100m リレー
 - ① 100m 代表競技者
 - ② 選考競技会および参考競技会（100m/200m/4×100m リレー）の成績を総合的に勘案し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。
- 2) 男女 4×400m リレー
 - ① 400m 代表競技者

② 選考競技会および参考競技会（400m／200m／4×400m リレー）の成績を総合的に勘案し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

3) 混合4×400m リレー

選考競技会および参考競技会（400m／200m／4×400m リレー）の成績および男女4×400m リレーとの戦略を踏まえ総合的に勘案し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

8. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと判断された場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

(1) 個人種目（男女10000mを除く）

1) 選考基準（1）1）～4）による選考：

即時内定とし、専務理事が承認することにより決定する。

2) WAによる参加有資格者公表後の選考（選考基準（1）5）～8）、2023年8月2日以降予定）：
前記1）の項により選考された者ではWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、選考基準（1）5）～8）に従い、強化委員会が原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。

※基準ワールドランキング公表以降にWAより有資格となる競技者が追加される可能性がある。

3) エントリー締め切り後のワールドランキングによる追加（選考基準（1）9）、2023年8月7日以降予定）：

選考基準（1）1）～8）により代表選手として決定した者がWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、WAから追加による参加資格が認められた競技者について、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

※前記1）～3）にかかわらず、選考後に辞退等により選考を取り消すべき状況が発生した場合には、その時点において適用すべき決定手続により、必要な選考（既に決定した選考の取り消し含む）を行うものとする。

(2) 個人種目（男女10000m）

1) 選考基準（2）1）～3）による選考：

即時内定とし、専務理事が承認することにより決定する。

2) WAによる参加有資格者公表後の選考（選考基準（2）4）～5）2023年8月2日以降予定）：
前記1）の項により選考された者ではWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、選考基準（2）4）～5）に従い、強化委員会が原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。

※基準ワールドランキング公表以降にWAより有資格となる競技者が追加される可能性がある。

3) エントリー締め切り後のワールドランキングによる追加（選考基準（2）6）、2023年8月7日以降予定）：

選考基準（2）1）～5）により代表選手として決定した者がWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、WAから追加による参加資格が認められた競技者について、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

※前記1）～3）にかかわらず、選考後に辞退等により選考を取り消すべき状況が発生した場合には、その時点において適用すべき決定手続により、必要な選考（既に決定した選考の取り消し含む）を行うものとする。

(3) リレー種目

WAによる参加有資格者発表後の選考（選考基準（3）1）～3）2023年8月2日以降予定）：
WAルールによりリレー選手として選考される個人種目で選考基準（1）1）～8）に従って選考された選手とあわせ、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

9. 補足

(1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保證するものではない。

(2) WAが定めるエントリースタンダードに準じて必要に応じて、補欠選手を選考できる。

(3) 参加標準記録の有効期間は下記の通り。

10000m、混成競技、リレー：2022年1月31日～2023年7月30日

その他の種目：2022年7月31日～2023年7月30日

- (4) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。
- (5) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記(4)を遵守しない場合
- (6) 代表選手は、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最大限の準備をしなければならない。なお、WAのルールとして、100m代表選手は、4×100mリレーに、400m代表選手は、4×400mリレーにそれぞれ必ずエントリーされることから、100m代表選手は、4×100mリレー、400m代表選手は、4×400mリレーについても、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最大限の準備をしなければならないことに留意されたい。
- (7) リレーの代表選手(WAのルールにより100m代表選手または400m代表選手として、WAのルールにより、4×100mリレーまたは4×400mリレーにエントリーされた者を含む)は、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。
- (8) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (9) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上

ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会
トラック&フィールド種目ターゲットナンバー・参加標準記録

男子		種目	女子	
ターゲットナンバー	参加標準記録		ターゲットナンバー	参加標準記録
48	10.00	100m	48	11.08
48	20.16	200m	48	22.60
48	45.00	400m	48	51.00
56	1:44.70	800m	56	1:59.80
56	3:34.20 (3:51.00, 3:51)	1500m (1 マイル)	56	4:03.50 (4:22.00, 4:22)
42	13:07.00 13:07	5000m 5km ロード	42	14:57.00 14:57
27	27:10.00 27:10	10000m 10km ロード	27	30:40.00 30:40
40	13.28	110mH/100mH	40	12.78
40	48.70	400mH	40	54.90
36	8:15.00	3000mSC	36	9:23.00
36	2.32	走高跳	36	1.97
36	5.81	棒高跳	36	4.71
36	8.25	走幅跳	36	6.85
36	17.20	三段跳	36	14.52
36	21.40	砲丸投	36	18.80
36	67.00	円盤投	36	64.20
36	78.00	ハンマー投	36	73.60
36	85.20	やり投	36	63.80
24	8460	十種競技/七種競技	24	6480
2023 ワールドリレーズ上位 12 ヶ国 +WA トップリスト上位 4 ヶ国		4×100m リレー 4×400m リレー 混合 4×400m リレー	2023 ワールドリレーズ上位 12 ヶ国 +WA トップリスト上位 4 ヶ国	